

室神山

学校便り

令和2年3月24日号

江津市立江津東小学校長 安食 徹

野に山に緑の色が濃くなって、そこかしこに春色の動く気配がします。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月2日より臨時休校となり、例年とは全く違う日々になってしまいました。子どもたちの残念さを思うと本当に辛く感じます。このような緊急事態の中、学校としては子どもたちのマイナスにならないよう学習内容の定着、未履修の内容の取り扱い等、様々な課題を解決できるよう来年度の計画を立てたり、休業中にできるサポートを行ったりしてきました。そして、令和元年度の全教育活動も本日をもって終えることとなります。保護者並びに地域の皆様方には、この一年間、本校の教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。衷心よりお礼申し上げます。来年度におきましても変わりませず、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



また、校長の私、安食 徹は令和元年度の勤務をもって定年退職となります。本校に赴任してからの4年間、江津東小学校の教育活動への多大なるご支援に対し深く感謝するとともに、これから、より一層素晴らしい学校・地域となりますことを祈念いたします。私事ですが、昭和58年度に教員となり、平成の時代を過ごし、最後の一年間に令和時代を迎えることができたことを大変嬉しく思っています。

唐突ですが、新採の時の思い出について紹介させていただきます。梶谷一校長先生という方の下で、教員としてのスタートを切りました。新採の一年間は、思い出だけで顔から火が出そうになるほどの失敗だらけの一年でした。梶谷校長先生は、次年度、出会って2年も経ないうちに持病の悪化で急逝されました。

未熟な私は2年目も、右往左往しながら日々の業務に悪戦苦闘していたため、梶谷校長先生との個人的な関わりの思い出はほとんどありません。ただ一つだけ鮮明に覚えていることがあります。1年目のPTA総会で、校長挨拶の最後に言われた言葉です。「**保護者の皆さん、子どもをダメにする一番の方法は、子どもに先生の悪口を言うことです。これだけは忘れないでください!**」と力強く言われました。教員になって1ヶ月も経たない新採の私は、「そんなもんなんだな」という程度に受け取っていました。

しかし、その後の教職経験や自分自身の家庭教育の経験を重ねるうち、あの言葉は教育における普遍的な真理であると感じるようになりました。教職員は子どもたちや保護者の皆様との信頼関係構築を目指し、尊敬・敬意の関係を築くことができるよう、誠意を持って真摯に教育活動に取り組んでいくことが最も大切だと思うようになりました。自己研鑽にもしっかりと励む必要があります。この言葉は新採の私を応援するために言ってくださったのだと感謝する思いと共に深く心に刻みつけられ、私の人生を支える教訓になりました。

その後も出会った全ての人々に支えられてきたことを深く感じる今日この頃です。全てのこと、結果として私を支える大きな力になってくれたと思うのです。

『感謝・尊敬・寛容』を心の中心に置くことを念頭に、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ『令和』の元年度、開校40周年の今年度を、江津東小学校の全教職員と心を合わせ、一生懸命に頑張ってきたこと、それを保護者、地域の方々に支えていただいたこと、大変有り難く、感謝の念に堪えません。本当に有り難うございました。衷心より感謝申し上げます。

県学力調査

12月10日（火）11日（水）に実施された県の学力調査の結果が返ってきました。結果については各学年それぞれの特徴があり、一概には言えませんが、読解力について課題があると言えます。基礎・基本の確実な定着を図る地道な取組を続け、国語の研究実践を基軸に、読解力や応用力の育成を目指していきたいと思えます。県・市教育委員会の指導を仰ぎながら、結果を校内で吟味し、新年度に向けて、授業の在り方、家庭学習の在り方、学習に対する構えの改善等について計画を作成し、それに基づいて具体的な取組を進めていきたいと思えます。また、望ましい学び方や学習習慣を身につけるには、生活リズムの安定やメディアの適切な利用など、ご家庭の協力も不可欠です。子ども達の力を伸ばしていけるよう、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

鼓笛引継式

2月20日（木）の昼休みに鼓笛隊の引継式が行われました。静粛な空気の中で、6年生から3・4・5年生へと、しっかりと引継が行われました。来年度も伝統ある鼓笛隊の演奏を、しっかりとやってくれるものと確信しました。

素晴らしい引継式でした。ただし覚えておいてください。皆さんは単なる技術だけではなく、一生懸命に教えてくれた6年生の心も引き継いでいます。



6年生は、本気で教えてくれたはずです。優しく教えてもらい、いい思い出になった人、おめでとうございます。あなたが一生懸命、素直に学ぼうとしたからです。怒られたりして嫌な思いになった人、おめでとうございます。あなたはまだ諦められていません。何とかしたいと6年生が本気になってくれました。要注意は、怠けているのに、たいして注意をされなかった人です。諦められ、適当に扱われています。一生懸命教えても、本気にならない人、言い訳ばかりする人、不平不満ばかり言ったり、人のせいばかりする人、ひどくなると教え方が悪いなどと攻撃してくる人、そんなめんどくさい人は、普通諦められてきます。今からでも全然遅くありません。心当たりのある人は、一生懸命に、本気で人に向かい、前向きな生活ができるように、自分の心を変えていきましょう。自分だけが自分の責任で自由にできるものだからです。

さて、6年生はこの一年間、立派に江津東小学校を引っ張ってくれました。やるべき時にはしっかりと実力を発揮してくれました。素晴らしい集中力でした。きっと来年は中学生として大活躍してくれると思えます。5年生以下の皆さん、あなたたちはこんな素晴らしい6年生の後輩です。これからも先輩の残してくれた良き伝統をしっかりと守り、育てていってください。

図書の寄贈（江津市更生保護女性会より）



2月20日（木）に江津市更生保護女性会より『コウくんときいろいはね』『へいわってどんなこと?』の2冊の図書を寄贈していただきました。子どもたちの健全育成を願っての温かい思いを大切に、今後教育に有

効に活用していきたいと思います。大変ありがとうございました。

東っ子を語る会

2月25日（月）に東っ子を語る会があり、初めに授業を見ていただきました。子どもたちは少し緊張したようですが、一生懸命学習に取り組んでいました。語る会では、活発に意見が出されました。学校評価を踏まえて、来年度に向けて改善を図っていく必要がある点やふるさとキャリア教育の充実のために大切なポイントなど、参考にするべき意見を沢山いただくことができました。来年度の取組に生かしていきたいと思っています。



大縄跳び大会

2月26日（水）の昼休みに、健康委員会が大縄跳び大会を開催しました。6年生と一緒に楽しめる最後の児童集会でした。大変和気藹々とした雰囲気の中で、楽しい時間を過ごすことができました。感想発表も沢山人が挙がりました。きっといい思い出になったことだろうと思います。



読み聞かせ、お世話になりました

今年度も一年間にわたり、月1回読み聞かせをしていただき、ありがとうございました。本を読むことは、子どもたちの成長にとって欠かすことができないものだと考えます。良い読書習慣を身につけることは、一生のアドバイザー、応援団を手に入れることだとも思っています。子どもたちが読書に親しみ、読書を好きになり、読書習慣を育むための機会を作っていただいておりますことに心より感謝申し上げます。



卒業生 巣立つ

3月20日（金）、卒業証書授与式を挙行いたしました。6年間の全課程を終えた卒業生が、立派に本校を巣立っていきました。当日の校長式辞の全文を以下に紹介します。

この度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月2日から臨時休校という異例の出来事の中で、卒業式を開催することになってしまい、大変残念に思います。しかし、敢えて言わせてもらいます。18名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本来ならば沢山の来賓に見守られる中、在校生と共に素晴らしい卒業式を行うはずでありました。皆さんも例年のように在校生とのお別れをしっかりと行い、思い出を胸に刻みつけたかったことでしょうか。在校生もきっと同じ思いです。在校生の姿はありませんが、心はここにあります。在校生は皆さんのことが大好きで、とても感謝し、尊敬していました。皆さんのこれからの頑張りを心から応援してくれています。それを信じてこれからも頑張ってください。

皆さんは、本当に元気で明るい立派な最高学年でした。様々な場で、全力を尽

くしてがんばるさわやかな姿を見せてもらえました。運動会や学習発表会などの学校行事においては、団結して素晴らしいリーダーシップを発揮してくれました。下級生も安心して頑張ることができたと思います。また、玉江大会や小中音楽会、ミニバス交歓会などの行事でも、最後まで全力を出し切る粘り強さ、本番に力を発揮できる集中力を見せてくれました。何事においても挑戦し、協力して課題を解決していくことができる6年生でした。在校生がこの一年間安心して学校生活を送れたのは、あなたたちのお陰です。そんな皆さんなら、これからいかなることがあろうとも力強く前向きに人生を歩んで行くことでしょう。

人生では、まさかと思う出来事も起きます。一生懸命取り組んでも、良い結果が出ないというようなこともあるでしょう。けれども、そんな経験も宝物に変えられるはずです。「失敗のない人生は失敗である」という言葉があります。たとえ失敗に思えても、そこから多くの学びを得て、成長できたとき、その事実の意味は宝物へと変わります。また「神様は背負いきれない重荷を背負わせることはなさない」という言葉もあります。どんなに苦しくても、その人には乗り越えられるからこそ与えられる試練なのです。目の前の現実には、意味をつけるのは、『人生の主人公』である自分自身です。今回のことにも、プラスの意味を見いだして、力強く進んでいってください。

そして、赤ちゃんの頃からずっと見守ってくれた家族の顔を思い出してください。注ぎ込まれた沢山の愛情や優しさが、皆さんのチャレンジや成長の原動力になってきたのです。その後も、家族に加え、地域の方々、先生方など、多くの人たちに見守られてきたのです。

また、担任として、誠実に向き合ってくださいました福間雅基先生、井上章江先生、木村真美恵先生を始め、これまでに会ってきた多くの先生方。実際に会うことは少なくても、地域の方々、教育委員会の方々、給食センターの方々など、たくさんの方々が、皆さんのために一生懸命になってくださっていました。そういう人たちに、皆さんは囲まれているのです。そのことを心に刻み込み、日々出会う人に感謝と敬意を持って人生を歩んでいってください。

当たり前の中の日常の中にも必ず感謝の種はあります。一見嫌なことの中にさえ感謝の種はあります。平凡な日常、不平不満さえもあなたの心の持ち方一つで感謝に変えられます。感謝は自分を幸福へと導いてくれます。感謝は人生最強の道標です。人生で起こることを、当たり前ととるか有り難いととるか、感謝するかしないかは自分で選択しているのです。世界をどう見るかは、自分次第です。どうか自分の力を信じ、感謝をもって人生を切り拓いていってください。どうか、自分の人生の主人公としての力を信じ、「人生の被害者にはならないぞ」という覚悟と笑顔をもって、がんばってください。家族や支えてくださる多くの方々への感謝の念を携えて、これからの中学校生活を充実させてください。

皆さんは日本の国旗、日の丸はどうしてできたのか知っていますか。日本では、侍に代表されるように、剣が歴史を作ってきた面があります。昔、大きな戦がありました。一方は白地に赤丸、一方は赤地に金丸。勝ったのが、現在の国旗『日の丸』の方なのです。剣道で力が互角な場合、太陽を背負った方が有利なのです。あなたが太陽と信じるものが、あなたを守ってくれます。何かを信じて生きていきましょう。皆さんは江津東小学校の卒業生です。江津東は江津の一番東です。江津で一番初めに太陽の出るところ、日の出る地です。それぞれの太陽を背負って、人生を切り拓いていってください。

終わりに、10年くらい前、ある人から教えられた言葉を、今回初めて紹介します。私にとって忘れられない言葉です。その人が幼い頃からずっと、父親に言い聞かされてきた言葉なのだそうです。

日本では昔から、死ぬと仏さんとか神さんになると言われています。皆さん、

命を大事にしてくださいね。自分の命を自分で守れるようにたくましく成長して
いってください。それではその言葉を紹介します。

『死んで仏になるな！生きてるうちに仏になれ！』

『感謝・尊敬・寛容』を心の中心に置き、愛のある人に育ち、どうか生きてい
るうちに神や仏のような素敵な人になってください。

最後になりましたが、保護者の皆様、卒業証書を手にしたお子様の姿を見られ、
歓びもひとしおのことと思います。大きなランドセルを背に入学した日から6年、
身体はもとより心も大きく成長され、本日卒業式を迎えられましたことを心より
お慶び申し上げます。おめでとうございます。この6年間、江津東小学校の教育
活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただきましたこと厚くお礼申し上げ
ます。ありがとうございました。

卒業生が、未来に向かって、幸せに向かって、力強く歩み出すことを祈念し、
式辞と致します。

これまで4年間、子どもたちに伝えてきたメッセージを図にしてみました



修了式で話したこと

今日で、令和元年度の一年間の学校生活が終わります。今度学校に出てきたと
きは、進級しています。自分の成長が分かりますか。体が大きくなり、1年前よ
りもたくさんを知り、できることが増え、心も成長しています。自分では
分からないかもしれないけれど、事実です。外から見ていると、よく分かります。
本当にみなさんは、よくがんばりました。～中略～

今年度は『感謝・尊敬・寛容』ということと『ひがし愛・ひがし合い』を合い
言葉に頑張ってきました。私はみんなには『愛のある人』に育ってほしいと願っ
てきました。愛の特徴はいろいろありますが、中でも代表的なものが『裁かない』
ということです。『愛は裁かず』と言います。要するに、人の悪口を言ったり、不
平不満を言ったりしない、ということです。人間は弱いので、どうしても自分で
責任を負いきれず、人や何かに責任を転嫁してしまいます。悪口を言ったり、不
平不満を言ったりする人がいると、強い人、怖い人と捉えがちですが、実は弱い
人、惨めな人、愛のない人、恐れに満ちた人なのです。みんなは人や物事の良い
面を見て、感謝し、尊敬し、嫌なことも寛容の精神で許すことができるように頑
張ってきました。それは強い人、愛のある人に向かって成長しているということ
です。春休みは『感謝の種探し』の宿題は出しませんが、どうか自分で、自主学
習で取り組んでみてください。

今年度が終わり、今、一度お別れします。そして4月にまた新しい出会いがあ
ります。また、続いてお世話になることもあるかもしれません。それでも、今は
節目です。丈夫ないい竹のような強いたくましい人に成長するため、この一年の
ことを振り返り、しっかり確認しましょう。感謝の思いをもって、これまでの思

い出を宝物に変えてください。そして新年度に一層成長できるように、しっかりした節を作ってください。春休みをそのような時間にしてください。

学校評価について

今年度の学校教育目標の達成状況を学校評価としてまとめました。ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

お礼

嘉戸 宗憲波積コミュニティーセンター長様より、スリッパを沢山寄贈していただきました。大切に活用させていただきます。大変ありがとうございました。

お知らせ

この度の人事異動で、私、校長の安食 徹は定年退職いたします。これまで、大変お世話になりました。ありがとうございました。なお、この度の人事異動に係る挨拶回りにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の趣旨に則り、自粛させていただきます。ご理解のほど、よろしく願いいたします。

また、新年度の入学式は、江津市教育委員会からの縮小して実施するという方針を受け、来賓の招待は行いません。その他の各種行事の予定につきましても、今後の状況により、変更を余儀なくされる可能性がありますのでご了承のほどよろしくお願いいたします。

最後に

私は、まだ管理職にもなっていない40才頃から、ある先輩に出会う度、「校長の仕事は夢を語ることだ！」と、なぜか聞かされてきました。そのため、まるで呪文のようにその言葉が心に残ってしまいました。校長になってからは、それに一生懸命取り組んできました。しかし、語れば語るほど、現実との乖離を感じさせられることもありました。「夢のようなことを語って何になる」「能天気な校長だと馬鹿にされるだけだ」などと考え、自嘲気味になり、語るのをやめたいと弱気になったこともありました。でも、何とか語り続けられたのは、心を開いて耳を傾けてくれる子どもたち、学校職員たちのおかげでした。また、保護者や地域の方々の中には、きっと「何をきれい事を！」と腹を立てられた方もいらっしゃるのではないかと想像します。しかし、学校便りの内容に関する批判は、一度も私の耳には入りませんでした。保護者の皆様、地域の皆様のご理解の深さと寛容さに痛み入ります。私のような者を支えてくださいましたこと、大変ありがとうございました。衷心より感謝申しあげますとともに、これからの江津東小学校と本地域の発展を心より祈念申しあげ、お礼の言葉といたします。

※例年3月の学校便りは、3月号、年度末号と2回発行してきました。今回は臨時休校となったため、一度にまとめて発行させていただきます。

感謝



浅利富士(杉原五郎氏寄贈:校長室)